

令和7年度 学校経営方針

市川市立真間小学校

1 学校教育目標

かしこく・やさしく・たくましく
3つの約束 「元気なあいさつ」「考えて行動」「いじめはダメ」

2 基本方針

- ・自分や友達のよさを理解し、互いに高め合える子どもを育てる。
- ・子ども一人一人のよさを見出し、自信をもたせて伸ばす教職員となる。
- ・子どものために、全教職員がその特長を生かして家庭や地域と協働する学校を創る。

【めざす子どもの姿】

- ・自ら学ぶ子ども
- ・思いやりのある子ども
- ・健康な子ども



【めざす教職員の姿】

- ・「いのち、いじめ、人権・多様性の尊重」を最優先にする教職員
- ・わかる授業を展開し、子どもの自己肯定感を高める教職員
- ・子どものために努力し、仲間とともに高め合う教職員

【めざす学校の姿】

- ・子どもが、夢を抱き楽しく学べる学校
- ・子どもが、安全かつ安心して過ごせる学校
- ・子どもにも、家庭にも、地域にも信頼される学校

3 経営の重点

(1)確かな学力

- ①ユニバーサルデザインを取り入れ、「わかる」「できる」喜びのある授業を実践する。
- ②学習習慣の確立と、考えさせる授業で、自学力を高める。
- ③言語活動の充実と本を読む習慣をつけ、より深く考える力を育む。

(2)豊かな心

- ①異学年交流など、他者との触れ合いの中で、思いを伝え合う力を育み、自己肯定感を高める。
- ②体験活動、読書活動などを充実させ、豊かな感性を磨く。
- ③家庭との連携を密にし、挨拶などの基本的生活習慣の定着を図る。

(3)健やかな体

- ①子どもや保護者が安心して登校できるよう、感染症対策に努める。
- ②教育課程内・外の体育活動の充実、外遊びの活性化等で体力の向上を図る。
- ③学校・家庭が連携し、望ましい生活リズムや、よりよい食習慣を形成する。

(4)信頼される学校

- ①学習活動や学校行事、及び学校生活に係る情報を積極的に提供する。
- ②学校安全全体計画に基づき、安全で安心できる学校にする。
- ③地域と連携し、ふるさと真間で児童の健全育成を図る。